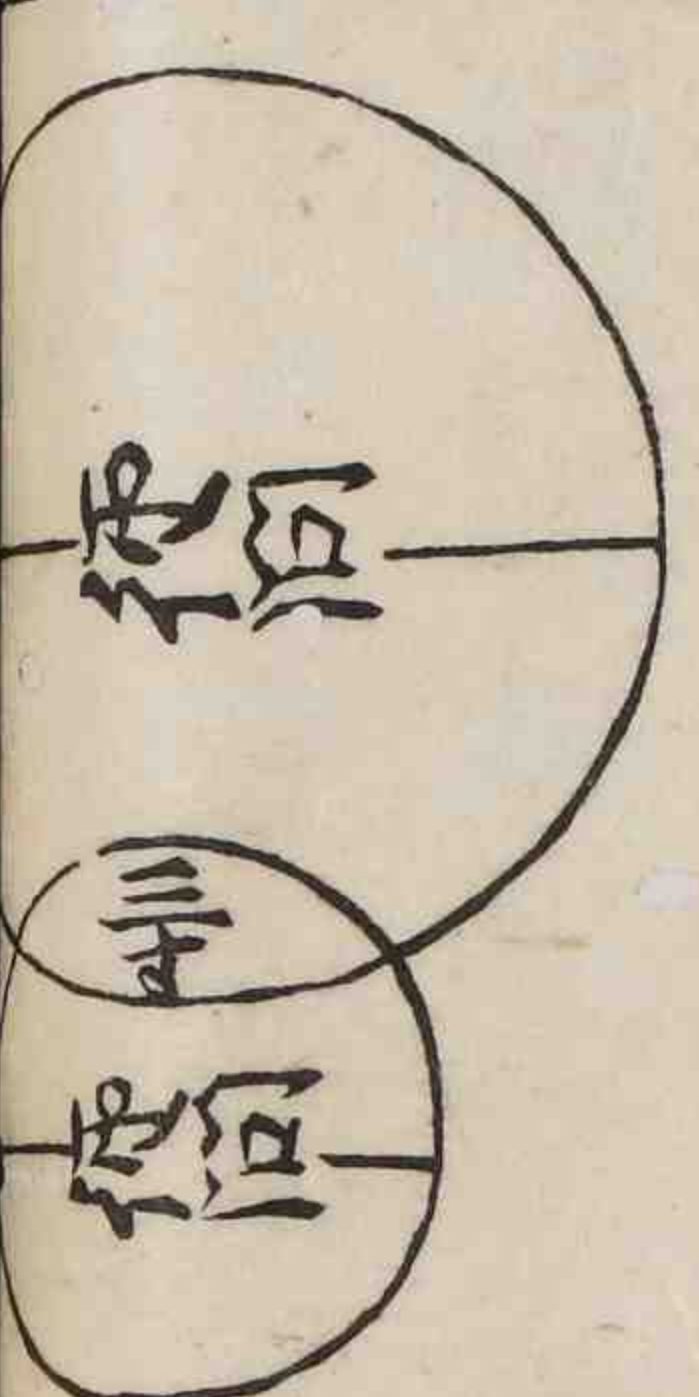


右乃百の四歩をいびて一歩の六二を  
 六の割は一七七の八二二二を  
 同字の割大輪矢に二りの八をさく  
 右の百の四歩をいびて割廿六歩を右の  
 四の二りの八をさく割廿七歩を右の  
 二の二りの八をさく割廿八歩を  
 二の二りの八をさく割廿九歩を



い矢三寸大輪矢矢三寸  
 ハリ小輪の矢七寸五分

法目脈七寸五分と一歩をいびて六十歩の  
 内六寸八の二の八をさく割廿六歩を右の  
 八歩をさく割廿七歩を右の  
 二の二りの八をさく割廿八歩を  
 二の二りの八をさく割廿九歩を  
 二の二りの八をさく割三十歩を  
 二の二りの八をさく割三十一歩を  
 二の二りの八をさく割三十二歩を  
 二の二りの八をさく割三十三歩を  
 二の二りの八をさく割三十四歩を  
 二の二りの八をさく割三十五歩を  
 二の二りの八をさく割三十六歩を  
 二の二りの八をさく割三十七歩を  
 二の二りの八をさく割三十八歩を  
 二の二りの八をさく割三十九歩を  
 二の二りの八をさく割四十歩を

川流て大橋一尺之又平歩を四寸  
割十歩を是と矢二寸とくく割七寸  
みふの内矢二寸引流るあす小徒

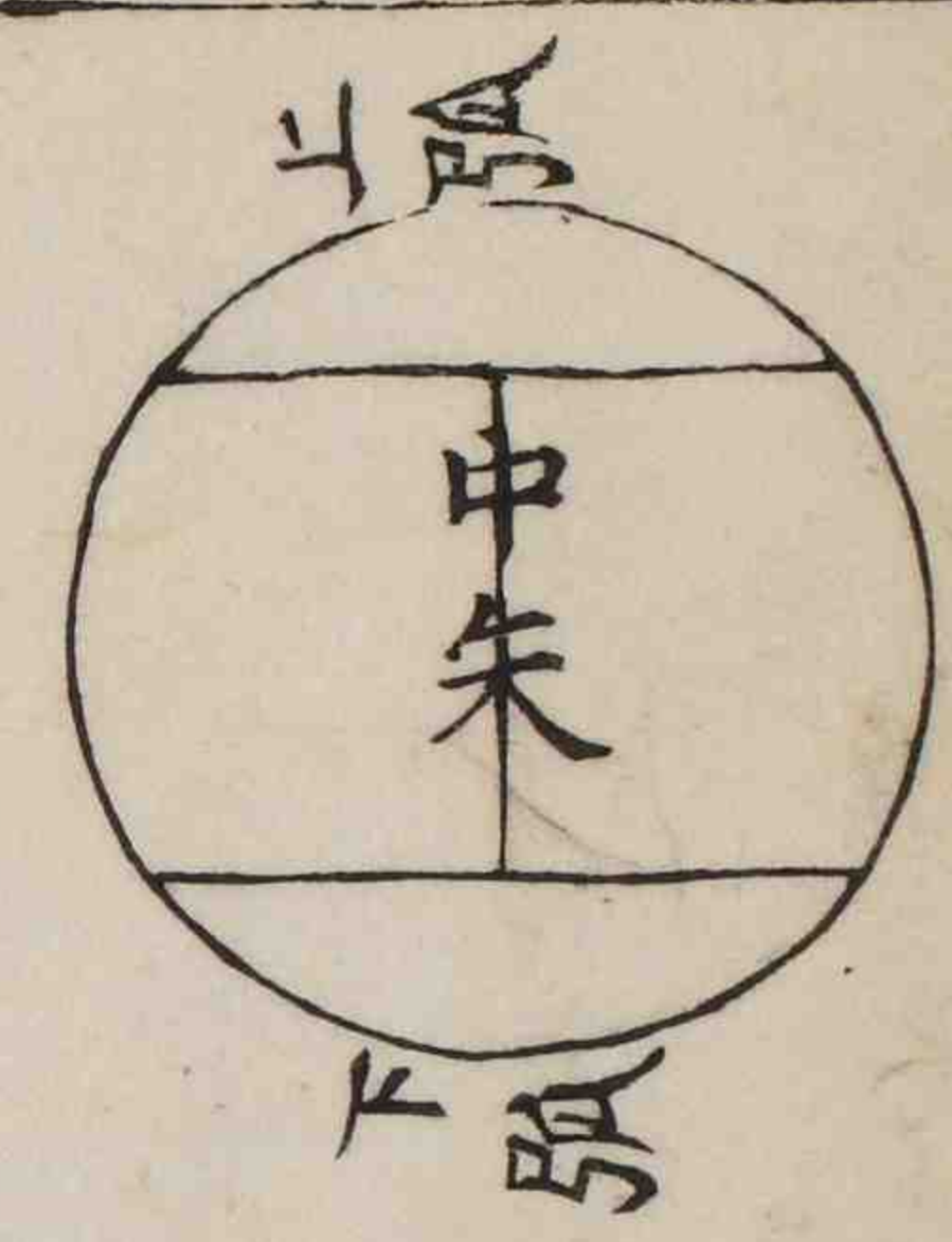


南の矢三尺五寸八分向乃  
弧三尺四寸四分は徳と  
向の矢とるを同

答旨

本徳は尺四寸二分九リ六毛  
向矢六寸四分九リ六毛

七百七十二歩の〇は之極矢三尺八寸八分  
とるを流して子平百八十一歩六分は是  
子七百七十二歩の〇はと加く三子平を  
十六歩六分八厘を正開平より割  
はみ尺六寸二分八リ八毛はけ四尺三寸  
み寸八分を引流る一尺九寸四分八リ八毛  
を三寸と割は向の矢六寸四分九分六毛  
是流矢三尺八分と加て徳は尺二寸二分六

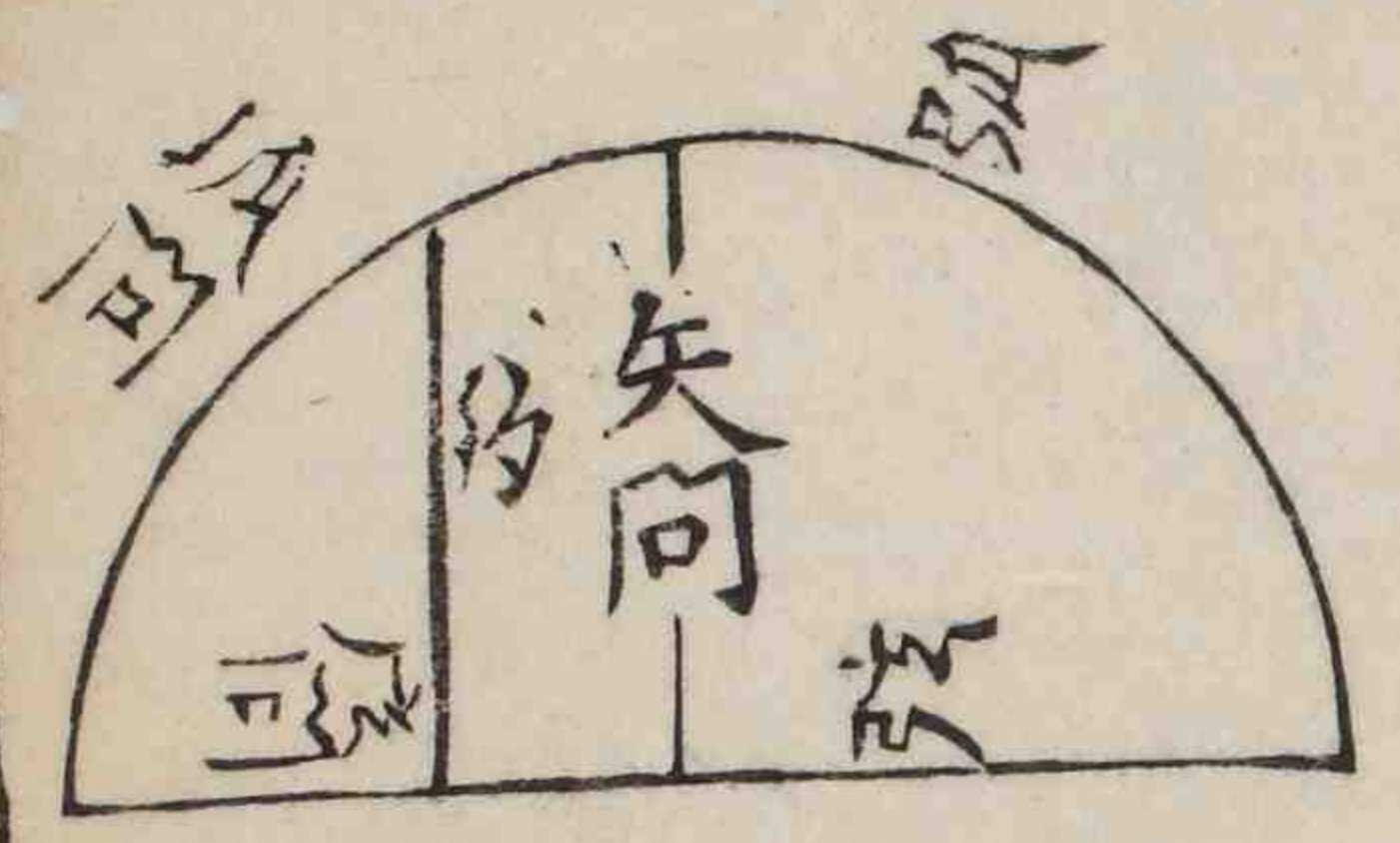


けしと下の流各百歩  
 家子切てしとあき矢ハ  
 百歩をけしと下矢と併せ同

答曰

矢各三十歩百八ふ三リ  
 本儀ハ百九十九百六ふ六リ

法曰と下ハ流合ては百歩をとりしと  
 て十六万歩を退位して二万歩  
 ありしと中矢ハ百歩より四ふを



便曰す女を流の切を流ハ寸九ふ  
 法二寸一分ハリ約寸分け約の分切  
 の流と法とと同  
 願般ニ流曰す下二寸とるにあやまりと

万歩子三百歩を毎歩に割百歩  
 九百六ふをけしと右のハ十歩を  
 て六十九百六ふを中矢ハ百歩加て便  
 あり又六十九百六ふをさうに別て矢也

法一寸七分他切並あり

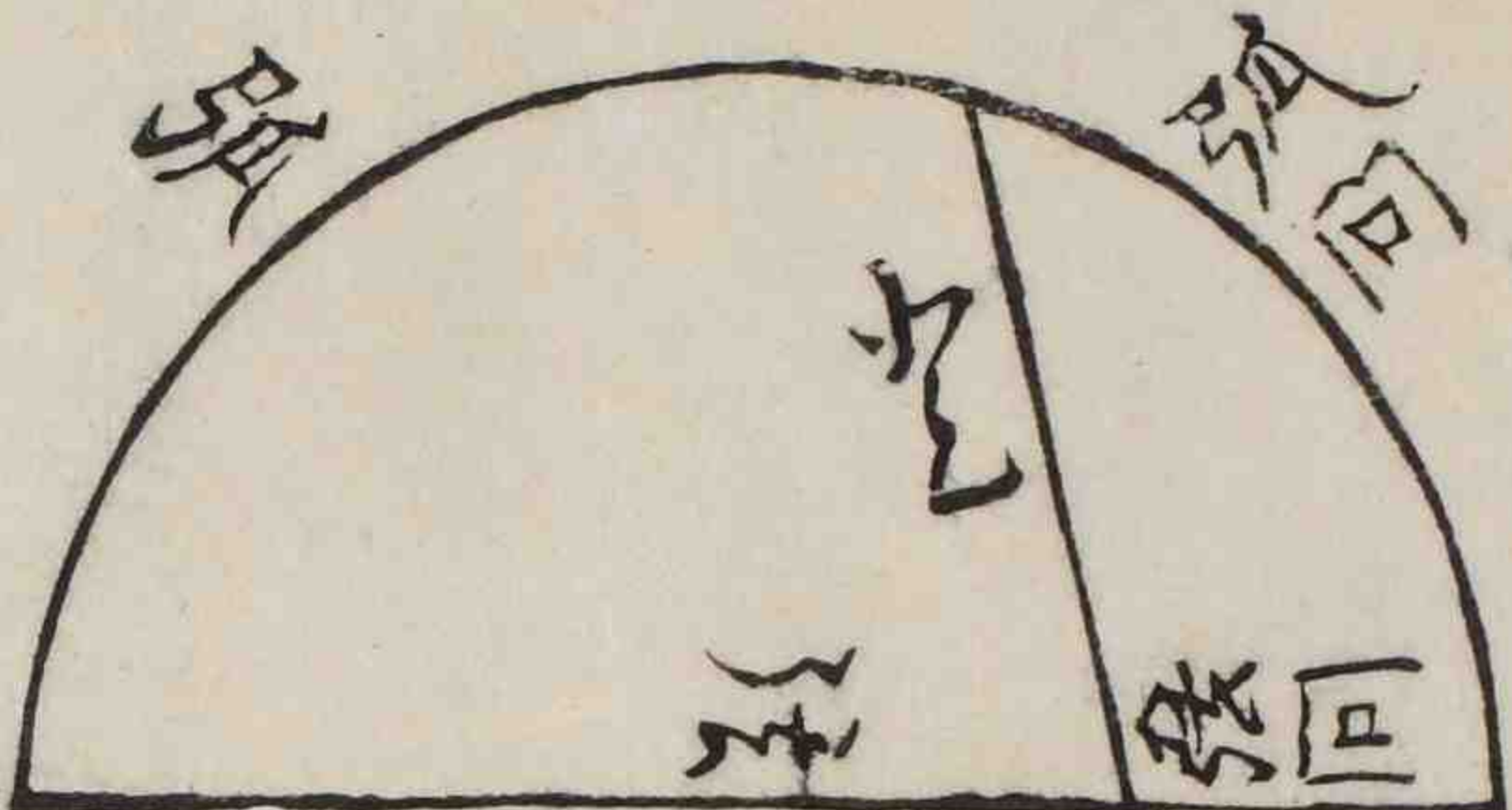
答曰 矢一寸五分一リ三毛八系

弧一寸四分一リ他切並あり

法曰法關ハ一寸八をとり家して四歩七分  
二四寸長物一寸五分と一系して二歩の二又  
出合て七歩の〇〇二四と一系して徑自家  
十六歩の内ハ弧ハ九分九七六へ物自  
家ハ歩の二又と一けて二〇二四六分長と

別物の一は法ハ一寸八を知り  
一寸八分長と一系して一寸八の〇分  
に長と右十六歩の内ハ弧ハ九分  
五分を二系して割九分七二に長と  
徑一寸の内ハ弧と一系して割一寸八  
分三三ハ長と一系して割七分六分  
一三ハを二系して割一寸八分一  
分一三ハを二系して割一寸八分一

廿八歩のりくをそとつ母年ニ割ぬす三ふ六  
 リはせし世ニすまふりせり世ニすはぬ流じ



今括弧みするなる系を左の  
 らづれニ知るそとせ人ニふれ付  
 一ふは流木みる六たを法は十三  
 するむせし十八なる根今一人の  
 くの流と法とを同

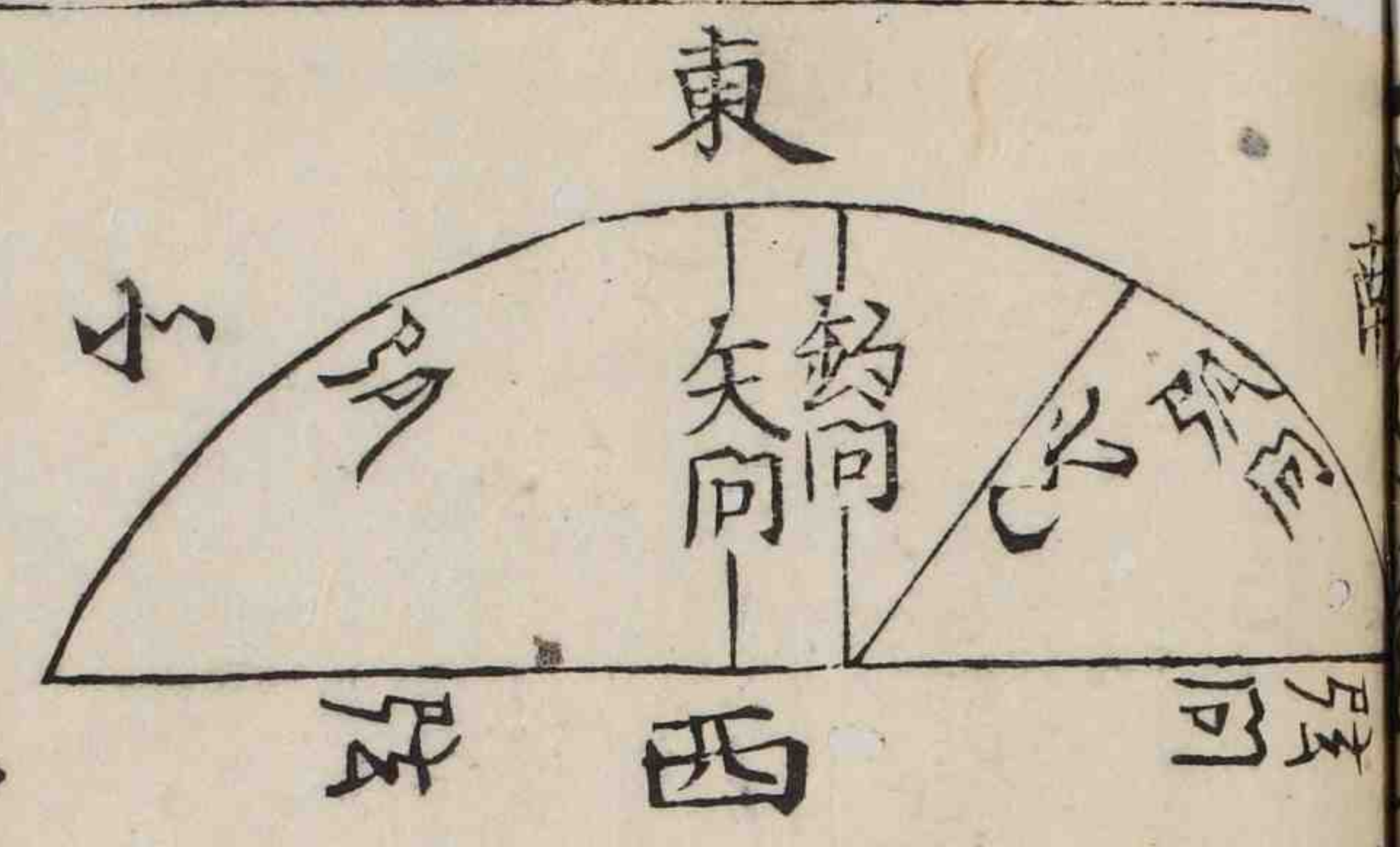
法一なる六ふ

七十歩の六三ぬ六そとつ母年ニ割ぬ六百三  
 八歩の八七八を二便ぬする分の一を算する  
 ぬ百歩のそと知く三子百三十五歩の八七八  
 をそと算年ニ割ぬ六十六なる内便ぬ十  
 なると知みたるは根便ぬする分の内在ぬ  
 たるは八のぬの十なるぬの十なるけりては百  
 ち十のりのそよにたるけりてぬの十なる歩を  
 ちなると知ぬは三なるけりては八

百四十九歩のそゝ右子〇又十六歩を加て  
 かし九百〇又歩のそゝ又歩のそゝ十八歩のそゝ  
 して三百廿四歩のそゝ右子九百〇又歩  
 の内川あるかし又百八十一歩と法倍八十  
 六歩のそゝ割三十三歩のそゝ又歩のそゝ  
 九百歩のそゝ右の子〇又十六歩の内川ある  
 て百又十六歩のそゝ又歩のそゝ割十二歩の  
 九歩のそゝ約の板御のそゝ又歩のそゝ二子又百  
 八万又子の百又十歩のそゝ又歩のそゝ〇又十  
 六歩のそゝ割六百十三歩の三二八歩  
 〇又歩のそゝ割十百九十九歩のそゝ又歩のそゝ  
 右の三十歩加て百十百九十九歩のそゝ又歩のそゝ  
 〇又歩のそゝ九百九十九歩のそゝ又歩のそゝ  
 〇又歩のそゝ百歩の内川ある〇又百十歩  
 〇又歩のそゝ又歩の割廿二歩のそゝ又歩のそゝ  
 又十歩の内川ある廿七歩のそゝ又歩のそゝ

割ち矢十三万七千を女是と流り割  
 六万八千を女是とみ十万加くみ十  
 八万を女是と四万加けて水百廿七  
 女是十三万七千を女是とみ十  
 歩の三八女是とみ十を割み十  
 八万加くみ十を流成み万を川  
 成て女万〇二女是一人分の流  
 又右四  
 十の流成み万の流成み万の流成  
 万の流成み万の流成み万の流成

六九



のようねた田は田の南にあり流  
 板田の東北流の百六十七万  
 万の流成み万の流成み万の流成  
 のる十の流成み万の流成み万の流成  
 と又田の流成み万の流成み万の流成  
 水溜流三十万 法廿六万六千九百七十五  
 矢十八万八千六百六十八  
 流十六万一千九百九十二

法曰佛百廿五をくくしてきてき万の  
 四百歩の又ち千の八分をくくして  
 四子又百九十の歩八はをくくして  
 千歩の百九十八歩は二女をき万の  
 百歩をくくして六千六百九十八歩は二  
 女を運卒に割百廿九を二二二女は  
 百川歩く九百二二二をき百廿五の  
 け九百二二二を川歩く百十の〇七七八

九八八六に女を運卒に割六十三万九二  
 女をくくして三子六百  
 止の又十の女を運卒に割百  
 十歩の四女を三子六百歩のの川歩  
 三子三百の千三歩の八右の四子の八十六  
 止の九八八六に女をくくして七子の百四十歩の  
 四八八六に女を運卒に割三子七百女  
 歩の〇二に四三二女を右の六十三万

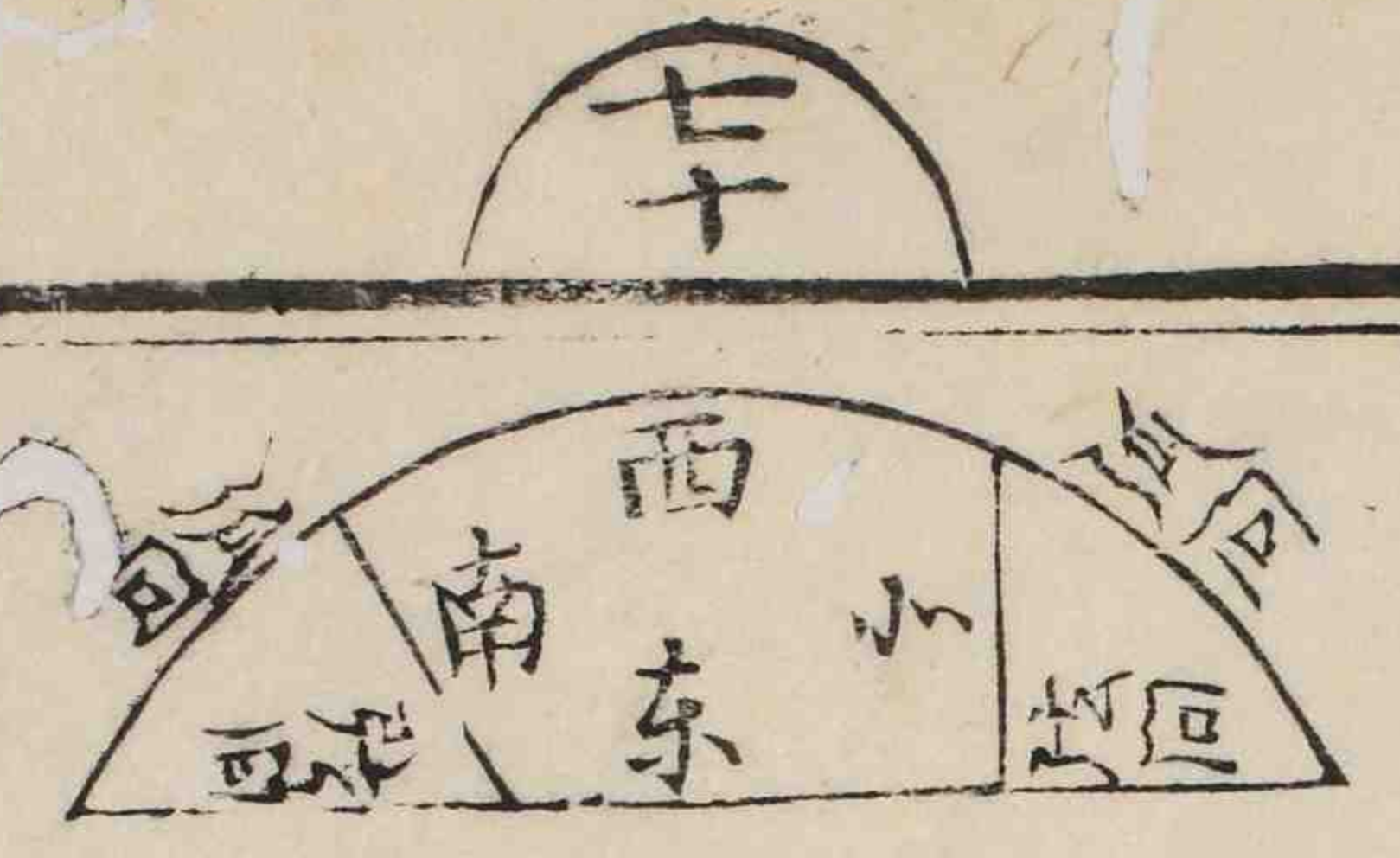


九二二六とひく割み十八万二七をさ  
きして三子三百八十七よりかひと右六方  
をひく割はみ十たるにみり年をさ  
きして三子百八十七より〇にひききたをさ  
右の三子三百八十七より二の西に於て  
か百歩〇〇一八八八八をさきと年を割  
十百八十八をさきと十三万九二二六を  
さして九百〇百より二六九〇六二七を  
さきと右の四子〇八十六歩九八八の西に  
於て三子百八十八より九七〇の西に  
割六十三より〇二七をさきと年を割  
歩れ也る子〇八十六歩九八八の西に於  
て方〇三百十三歩〇三三六八右に於て  
一歩の四九一とさしてか百八十九万〇八  
歩の六二八をさきと右の四子〇八十六歩  
九八八の西に於て割六十三〇九歩三七

五女を海卒と割女四つ六八五五女  
 是より右の六十はる〇一二を和く八十はる  
 六九七五五を是より一を去りして七五五  
 十六歩は又六〇六二五を右に百四子  
 四百止ののりあはる百八十三歩又  
 四三〇九三七五を海卒と割八十  
 かり九六七五を是より百四のりあはる  
 三十七〇〇三三とあはる割女十八五一

五女をへ右の十はる五二六五を和けて九子  
 三百九十三歩は〇三二六二二五を是より  
 けて九子五百七十三歩は二五五を  
 を海卒と割九十七はる五十四五六十  
 七はるを川あはるはる是より海卒乃  
 流しきく右八十はる六九七五のり法六  
 十より川あはる六六九七五を割  
 歩溜の法也是より六ナるのり川あ

本三万三〇二又をわくと割十六万六又を  
 二又をさく得百廿万をわくと割六万  
 法右の六万六又二又を門算て  
 四十三万三四八七又をを得百廿万  
 の内川算七十六万六又二又八四〇〇  
 けて三百〇六万六〇又八又二〇四十三万  
 三四八七又をけき万三千九百九十九〇  
 九四三九三七又をを毎年と割百  
 十六万二又九二を是約〇



持後三万三〇二又をのち中て礼  
 中二南池を板中地算を西百  
 十万〇又八千九百の地算六万  
 南本八万二千を南池地算何程  
 法何程又中の地算のよりと算  
 小派百六万八千八小法百〇七万九千九  
 南派百三万八千八南法百十三万三十三

景

法曰傳三百万とて一を累して九万歩あり  
 而流百十方を自累して一万歩二  
 百十歩の二又を累して六千二百歩  
 一二又を累して九万歩を和して九万六千二百歩の  
 一二又を累して母平之割 三百十方を累して  
 三百十方と川流して十方より三百十方の  
 右なる川流して百九十九なるへ十方よりけて  
 九百九十九歩ありとて母平之割 けてきき万歩  
 在りて累して六千二百歩ありとて右三千六百  
 歩加へてきき万歩ありとて母平之割 百歩を  
 累して百歩ありとて三千六百歩を割は  
 三十歩ありとて三十歩ありとて母平之割 して千  
 百九十九歩ありとて右の三千六百歩の流  
 して千六百の流ありとて母平之割 して十八  
 歩ありとて千六百の流ありとて累して千  
 四百九十九歩ありとて右きき万歩六

百歩の十を百歩知くは万子六百歩けり  
茶の子は百歩十九歩中回を以てあるは  
百歩十歩の七を以て割て一万〇〇七〇三  
八を右の百〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇三  
三〇〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
十歩ありぬきしとあるはく割て  
るは万子六百歩を以て割て七子六  
百は十二歩六九三〇六二を右の八  
十三〇一五九〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
八十一〇一五九〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
六子六百の十歩八は百〇七〇七〇七〇七  
八十七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
六十一〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
百十歩ありぬき〇七〇七〇七〇七〇七〇七  
子六百八十六歩八は百〇七〇七〇七〇七  
六子六百三十一歩三十七九〇七〇七〇七

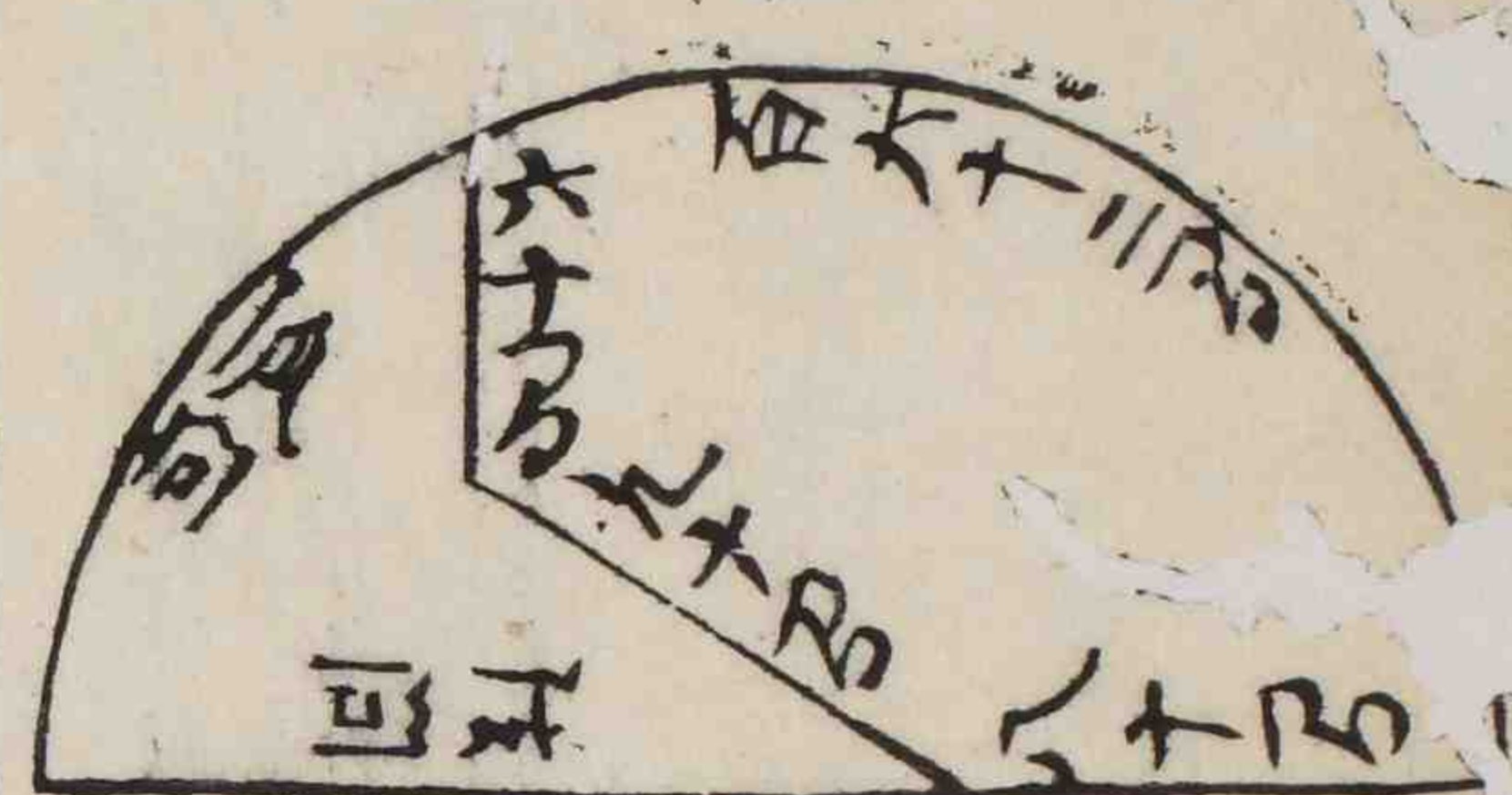
右ハ子七百四十二歩二又と三子六百歩  
と入て一万中子三百四十歩二又け  
九子四百三十一歩三七九に六又子以  
三子百十一歩二二〇又三又と或う割  
子二百又十又歩又又〇二六七又と  
六又ととく割女又九二又九又  
又百〇七又七又とけして中子七百九十  
歩〇一九に三又と九十三又と  
六百歩の四引張る一万〇七百〇八歩二〇一  
二三二と毎年と割百〇三又八又と  
神々九万歩の内右の七万子六百  
歩とり張る七万ハ子四百歩又と  
右ハ百九十一歩七九七六九とけして六子  
九百九十一歩六子九百三十八歩八九六又  
ととちの二〇子六百歩とく割は  
六子〇七七歩三三三又と毎年と



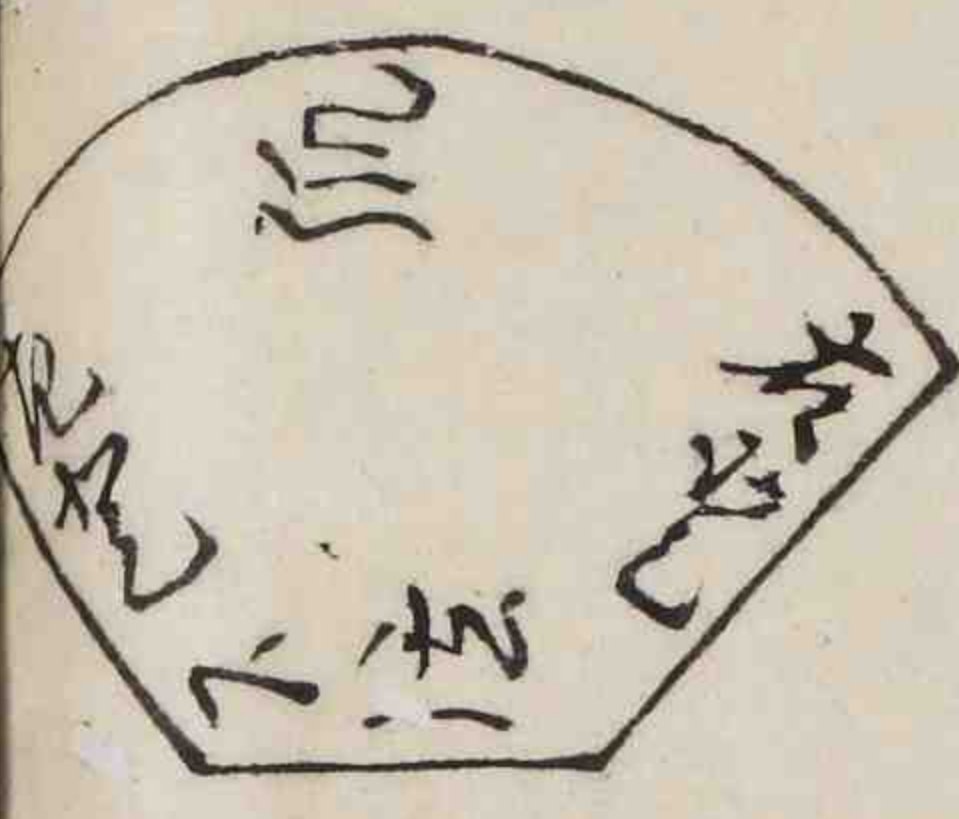
みくみせこもきと種三百ものありて  
中百九十九るに二八八右のみかみせ二を  
うけて百六十六歩の四九八二八二歩を  
海子と判十二る九一七又みかみせ二と  
うもきして三ふ一〇四七一にみせ二  
をうけて四ふ六みせ七〇七せ六をき  
右の百  
六十六歩の四九八二八二歩をうけて百六十六  
七歩三二八二三み九二二をき  
海子と判

水の池の法又百廿る〇に二六とナニる九  
七と合て百三十三る三三三三三三三三三三三三  
る川海もみ十三る三三三三三三三三三三三三三三  
こ又百四十一るに二の内右十一る九三三三三  
川海も百廿八るに八みりの池の法也  
又百四十二るに二とナニる九三三三三三三三三  
にみ十にふと又みの内西の百十る〇三  
川海も百三三ハ三三三三三三三三三三三三三三三三





法三十二書目同之也



徑一丈六寸の幅あるのひげ一  
 丈七寸八分なちれやと下の  
 法と三方とておわし一丈八

答目

左ちちと右ちちす六分八厘

法曰徑二丈六寸とて六分八厘  
 一丈七寸八分とて三百十六歩  
 八分はとて六分八厘は二を三右  
 六百廿八歩を加へ七百八十三歩は二を  
 三を毎歩に割れ六分七寸九九有け内二丈六寸  
 八分はとて九九有也是を六分八厘の  
 分はとて二寸。一五八分九九をうけて

六十五歩、九九是に、けり、百方十三  
 歩、三三九、是を、母、子、割、上の、法、一、又、六  
 寸、二、と、知、る、板、二、尺、寸、守、の、内、一、尺、八、寸、一、寸、を  
 門、跡、る、寸、九、分、八、上、法、一、尺、寸、守、二、三、と、け  
 百、十一、歩、九、一、八、女、板、二、尺、寸、守、の、内、上、法、一、尺  
 六、寸、二、三、と、川、跡、る、八、寸、七、八、を、寸、と、割、一  
 二、寸、七、分、八、厘、と、女、是、則、下、の、法、を、り  
 是、を、一、尺、八、寸、一、分、の、内、川、跡、る、八、寸、三、分、



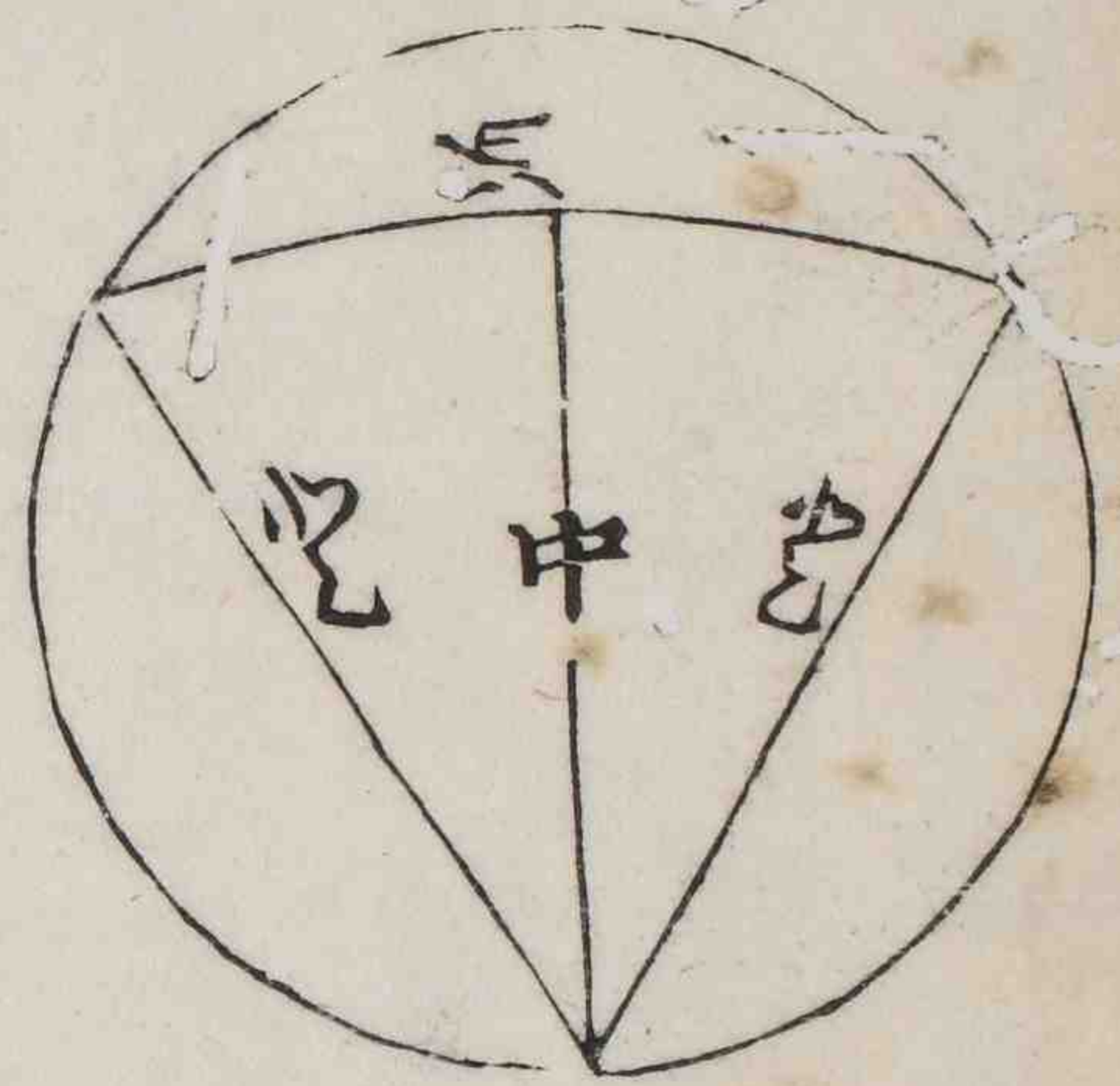
の、地、形、派、二、百、十、五、方、各、法、百、廿、三、百  
 短、法、七、十、五、と、是、を、三、寸、割、法、集  
 小、書、法、の、為、を、用、て、繩、を、法、南、の  
 繩、法、以、知、と、同、繩、を、法、け、板、を、高

答曰  
 長、法、繩、繩、法、二、百、三、六、寸、二、  
 短、法、繩、繩、法、三、百、八、二、一、寸

法、曰、繩、中、右、方、と、り、案、し、て、四、方、歩、又、派、式  
 百、寸、五、寸、五、分、と、案、し、て、四、方、歩、寸、百、廿、六、

歩をきとけりて別ハ万三子百十二歩のみ  
 是二四万歩を加て六万三子百十二歩のみ  
 を同千に別ハ百六十一万三三二女内ハ百  
 三川別ハ百六十一万三三二と又ハ百三の月  
 川百四十八万七七八と是二一六十一万三三二と  
 けて七子六百廿歩の七〇六七二六女是よ  
 四とけて三万〇四百八十歩ハ二六八歩  
 是と海千に別ハ百七十四万九三二女百廿  
 六歩をきとけりて百廿九歩の四ハ  
 別ハ九子三百六十三歩のみ是二一三万  
 〇四百七十二歩ハ二六八歩を加て三万九  
 子百三十三歩ハ二六八歩ハ女是と二  
 万に別ハ九子九百十七歩九二三四三二  
 女是と百七十四万九三二女は別ハ  
 十百〇二女は是と一三子ハ女是と  
 百六十八歩ハ二六八歩ハ女是とハ  
 百六十八歩ハ二六八歩ハ女是とハ





府に於て東の派ハ十有九  
 也。中七者九なるを  
 けり。此の地は  
 仕き。括弧。何れと同

美言曰。東派九十九有六分。又

法曰。派ハ十有九を以て六子四百歩  
 是より六子の別三子四百歩を以て九十九  
 歩を以て百八十九の歩を以て三子の

行。此でハる六八を以て又百八十九の  
 行。此で七十一有二三ハ右のハる六八を以  
 子四百八十七歩。〇〇七六。又。百七十三  
 式のろち。あ。九十九を以て。此でハる  
 一。〇三二。と。右の歩。四百八十七歩  
 〇〇七六。と。別は。十八有二。八。又。是。ハ。十一  
 有。三。二。を。加。く。る。派。九。十。九。有。六。〇。又  
 と。知。ち。ら。